

第20回 武田の里まつり

武田勝頼公新府入城祭り



「新府城」、「武田勝頼公」にスポットをあてた市民総参加の一大イベント、武田の里まつり「武田勝頼公新府入城祭り」を、10月12日（日）に実施します。

当日は、本陣及び風・林・火・山と名付けた各陣屋を配置した本町通り・駅前中央通りが交通規制区間となり、戦国時代風に見立てた中で、パレードや時代絵巻行列が行われます。

また、本陣と各陣屋（4か所）では、武田家とゆかりのある都市との交流、好評の「武田の里スタンプラリー」、その他、ミニイベントなどを多数開催します。

なお、今年は、第20回特別企画として、まちなかミュージアムと題し、武田三代物語絵巻（日本画65点）を駅前中央通りに展示します。

ご家族、友人おそろいで歴史とロマンに彩られた私たちのふるさと「武田の里」を満喫してみませんか。

祭り会場案内図



■日時／10月12日（日）
11:00～16:00 ※小雨決行

■会場／駅前中央通り・本町通り

■内容

- ・時代絵巻行列
- ・まちなかミュージアム
- ・各種パレード
- ・スタンプラリー など

●お問い合わせ

武田の里まつり実行委員会（市役所商工観光課内）
内線 213・214



葦崎の秋を
楽しもう!

秋のイベント



川中島の合戦で戦う信玄と謙信



■お問い合わせ
ゆーぷるにらさき ☎ 20-2222
道の駅にらさき ☎ 25-5021

・道の駅「銀河の駅にらさき」
とん汁まつり...おいしいとん汁を無料サービス
お楽しみ抽選会...たくさんのお品をご用意
地元野菜の特売...ビックリ商品がいっぱい

◆日時
10月12日(日) 新府入城祭り当日 12時~15時

◆場所
駅前中央通り特設会場(P2案内図参照)

武田氏一族の盛衰を描いた武田三代物語絵巻(日本画65点)を新府入城祭特別企画として、駅前中央通りに展示します。
時代背景などの解説文も添えられます。この機会にぜひご覧ください。

Event 01 第20回特別企画 「まちなかミュージアム」 開催

Event 02 ゆーぷるにらさき 道の駅にらさき おかげさまで10周年!

「ゆーぷるにらさき」・「道の駅にらさき」は、この10月で10周年!

10月26日「ふろの日」にお客様感謝デーを開催します。道の駅でもとん汁まつりを開催し、10年間のご愛顧に感謝するため、大サービスを行いますので、ご家族お揃いで秋の1日をお楽しみください。

◆日時 10月26日(日) 10時~

◆イベント内容
・ゆーぷるにらさき 入場料 100円
市民の方は大人も子どもも100円でプール・温泉がご利用できます。

Event 03 電気を消して星空を眺めよう ライトダウンにらさき

宮沢賢治の名作「銀河鉄道の夜」のヒントになったとも言われる葦崎の夜空。
そんなロマンチックな星空も、私たちが暮らしていくための照明が星の光をかき消して、見えにくくなっています。
電気を消して星空を見上げ、身近な環境について考えてみませんか?

◆日時
10月25日(土) 18時~

◆場所
銀河鉄道展望公園(穂坂町)

◆内容
◇親子キャンドル作り
◇井上智典弾き語りコンサート
◇宮沢賢治朗読会
◇ゴスヘルコンサート
◇銀河鉄道を探せ!

■お問い合わせ
ライトダウンにらさき実行委員会(商工観光課内)

(内線213)



市内の秋祭り

柳原神社・秋の例大祭!!

「こんぴらさん」の通称で地元の子どもたちにも親しまれています。本格的な土俵で行われる奉納相撲が名物です。前夜祭もあります。

- 日時 10月19日(日)(第3日曜)
- 会場 柳原神社 中田町小田川
- 内容 ・御輿、子ども御輿 ・神楽 ・奉納相撲
・祭り屋台など



武田八幡宮・秋の例大祭!!

市内では一番知られている、武田家の氏神として崇められてきた武田八幡宮の秋祭りです。毎年多くの人で賑わいます。現在の本殿は武田信玄が再建したものです。

- 日時 10月13日(月・祝)
- 会場 武田八幡宮 神山村北宮地
- 内容 ・神輿 ・式典・神楽 ・弓奉納
・甘酒、もちのサービス・バザー、祭り屋台など



原山神社祭典!!

メインは青木・中谷地区に大正・昭和・平成と世代を超え受け継がれる子どもクラブによる楽隊行進です。郷土歌を含む3曲の演奏が境内などで行われます。

- 日時 10月12日(日)夜・13日(月・祝)
- 会場 原山神社 清哲町青木
- 内容 ・少年音楽隊による楽隊行進
・神輿(13日)など

穂見神社・秋の例大祭!

穴山町では他の神社でも秋祭りが行われていますが、ここが一番大きいお祭りです。

- 日時 10月11日(土)(第2土曜)
- 会場 穂見神社 穴山町石水
- 内容 ・神楽 ・浦安の舞など

神明神社・秋季祭典!

地域の方々に守られて続いてきた祭典です。

- 日時 10月13日(月・祝)
- 会場 神明神社・穂坂町日之城
- 内容 ・神輿、子ども神輿 ・神楽 ・浦安の舞
・消防団による出店など

このほかにも、市内各地の神社では氏子や地域の方々によって、収穫に感謝する秋祭りが行われています。今回はすべて掲載することはできませんでしたが、情報をお寄せくださった皆さん本当にありがとうございました。いつかの機会に掲載していきたいと思っています。



武田八幡宮の神楽

秋祭りとは、10月を中心に9、11月に行われるお祭り全般をさします。現代の秋祭りは、おもに神社で稲・米・酒・鳥獣・魚介類などの飲食物(神饌:しんせん)をお供えし、直会(なおらい:神事終了後に御神酒や神饌を下ろしていただく酒宴)を開いて神幸祭を行います。もともとは収穫祭を中心とする祭りを秋祭りといったそうです。秋祭りの代表例としては、刈初めの祭りである八朔(はつさく)から、新しい穀物に感謝する新嘗祭(にいなめさい)などがあります。10月は穀物の実りを神と自然に感謝する月でもあるんですね。

秋祭り

葦崎の秋を
楽しもう!

10月1日誕生!!

多くの市民の皆様のご来館を
お待ちしております

市立葦崎 大村美術館



片岡球子<< 富士 >>

当美術館は昨年10月名誉市民の大村智氏が設立した美術館ですが、美術館の土地、建物及び多くの貴重な美術品を市に寄贈してくださいました(広報7月号掲載)。
10月1日、市立美術館として再オープンし、今後は市が管理運営を行います。

会期10月2日～来年3月1日

■開館時間

4月～10月
10時～18時
11月～翌年の3月
10時～17時

■休館日

毎週水曜日(作品の入れ替え等により臨時休館日あり)

■観覧料

◇一般(大学生を含む)
500円(400円)
定期観覧 3,000円
◇小・中・高生
200円(150円)
定期観覧 1,200円

※(一)内は20名以上の団体料金

※定期観覧とは、観覧料を納付した日から起算して一年間の観覧をいう。

※市内に在住・在学の小学生・中学生は無料

※障害者手帳等をご持参の方はご本人と介護の方が無料
※模写・模造・撮影等特別利用につきましては美術館にお問い合わせください。

※10月10日(市制施行記念日) 無料開放いたします。

市立葦崎大村美術館開館記念

特別展「女流画家70人展」開催!



出張なんでも鑑定団の司会者も来館

収蔵作品の中から上村松園をはじめ、野口小蘋、小倉遊亀、秋野不矩、三岸節子、片岡球子、堀文子、嶋田しづ等日本を代表する女流画家70人約80点の作品を展示いたします。

2階展示室では、鮮やかな色彩で多くの人を魅了し、戦前戦後の洋画壇で活躍、文化功労者としても顕彰された鈴木信太郎の作品を公開します。第3展示室では、島岡達三、原田拾六等の作品を展示します。

美術館2階の展望カフェからは、富士山をはじめ八ヶ岳や茅ヶ岳、奥秩父連峰の山々が眺望できます。美術鑑賞後は、展望カフェにてゆったりと心豊かなひと時をお過ごしください。



ながめの良さが人気の展望カフェ

葦崎大村美術館

葦崎市神山町鍋山1830-1

TEL 23-7775

http://www.nirasakiomura-artmuseum.com

勲三等旭日中綬章
 葦崎市名誉市民

元市長 内藤 登 氏 ご 逝 去

～ 9月14日 葦崎市葬儀を
 しめやかにとり行いました ～



故 内藤 登 氏

平成 20 年 9 月 8 日 逝去 行年 86 歳
 法 名 政徳院殿登岳勲功大居士



元市長で、葦崎市名誉市民の内藤登（ないとう・のぼる）氏が9月8日ご逝去され、葦崎市葬儀が9月14日午後0時30分から、東京エレクトロン葦崎文化ホール大ホールでとり行われました。横内山梨県知事をはじめ、多くの行政関係者、市民多数のご会葬を得る中、葬儀委員長の横内葦崎市長の式辞に続いて、献花、弔辞、弔電披露などが、ありし日の故人を偲んでしめやかに行われました。

故人の幾多の業績の中から、主なるものをここに記し、永遠にご遺徳を讃えたいと思います。

葦崎市名誉市民故内藤登氏は、昭和26年、円野村村議会議員として初当選し、以来、昭和29年葦崎市合併と同時に、連続4期13年葦崎市議会議員として在職したのをはじめとして、その後、山梨県議会議員として連続3期12年に亘り活躍、県議会議長、副議長及び土木常任委員会委員長を歴任され県政発展にも大きく寄与されました。昭和53年、第7代葦崎市長に初当選、「正義と公平を貫く」を市政執行の基本姿勢に常に高邁な政治信念と優れた手腕を持つて、連続4期16年間葦崎市長として激動する社会情勢の中で市政推進の基本「若者が定着する活力あふれる都市にらさき」の実現に向け、市政の執行に当たられてまいりました。

日本経済が高度成長期を迎え、若年労働力が都会へと流出する過疎化現象が進む中、市の活性化を企業誘致に求め、御勅使工業団地に一流企業を始めとする39社、穂坂工業団地には、最先端IT企業外2社の誘致に成功し、葦崎市の経済力を全国55位まで躍進させる原動力となりました。

また、氏は、学校教育の適正規模及び施設の近代化による教育環境の充実を図るため、小学校統合と学校施設の近代化に取り組み、11校を5校に統合する計画を全て実現いたしました。また、峡北地域住民の芸術文化創作活動の拠点としての施設が必要であると考え、文化ホールの建設にも熱意を注ぎました。

氏は、市政誕生以来の旧庁舎では近代地方自治行政事務の多様化かつ煩雑化に伴う事務量の増加による事務効率の低下、行政サービスの低下を懸念し、新庁舎建設を市政推進の最重要課題として、市民から親しまれる庁舎建設に心がけ、昭和59年市制施行30周年に落成に至り、近代的な設備を誇る庁舎は、県内に先駆け財務会計システムのオンライン化等が整備され、事務のスピード化や住民サービスの向上に努めました。氏は、冷静な判断と豊かな政治経験を市政に生かし、葦崎市が日本一住みやすい都市ランク21位と評価され、その成果は市民に高い評価を受けました。

葦崎市名誉市民故内藤登氏が郷土に残されたご遺徳は、多くの人々によって後世に受け継がれ、人々の心の中に生き続けることでしょう。

ここに謹んで、ご冥福をお祈りします。